

098病院

COVID-19
対策情報

No. 098

-(指定なし)	新型コロナウイルス感染症指定医療機関等	病床数		床
無	新型コロナウイルス感染患者受け入れ実績			
-	病室陰圧化対応			
有	専用病棟化対応			
有	院内区画対応			
有	院外区画対応			

病院概要

所在地	千葉県
敷地面積	m ²
延床面積	m ²
構造	
指定・届出等	
設計者	
施工者（建築）	
補足事項	

対応事例

経緯	<ul style="list-style-type: none"> 2月下旬 新型コロナウイルス感染疑いの患者の診療が感染症指定医療機関のみでは対応困難であるとして、保健所より、当院でも対応するよう要請があった。一般患者と疑い患者との動線を分ける必要があるため、救急外来処置室を使用し、帰国者接触者相談センターからの紹介患者を当院が指定した時間に診療を行うこととした。なお、紹介患者がない状態で数日が経過した。 3月中旬 院内感染防止のため、発熱外来として救急処置室での診療を開始した。背景には、発熱・呼吸器症状があることを事前に連絡してくる一般外来の受診者がいたことが背景にある。発熱外来として診療する際は空間と時間を分けて診察できた。CT撮影が必要な場合は、救急処置室からCTまでの廊下を一時通行止めとし、動線を確保することとした。肺炎で入院が必要な場合は、PCR検査の実施も含めて保健所へ連絡し他施設を紹介することとした。
病室陰圧化対応	-
専用病棟化対応	<ul style="list-style-type: none"> 4月初旬 休床中の7病棟の個室を新型コロナウイルス感染疑いの患者の入院受け入れ病床として運用開始した。3月末に救急受診した患者が肺炎で入院が必要となったためである。3月後半は当院でもPCR検査を行うようになり、陽性軽症患者は自宅療養をしている状態で地域の専門病床が不足していたことから、当院での入院治療となった。急遽の対応であったので、個室の準備と勤務者は通常の内科系入院を受けている5病棟のスタッフを日勤1人、夜勤1人配置した。 4月下旬 5病棟（内科・外科）の患者を1病棟（整形外科・脳外科）へ移動し5病棟を休床とて、7病棟を発熱・呼吸症状のある患者の入院病棟12床とした。7病棟を担当する看護師はアンケートにより協力すると回答した中から構成し、他5病棟スタッフは多くが1病棟へ移動した。1病棟は入院患者数が増えるのでスタッフも増員されたが、4月新入職のスタッフも多くその指導も加わり、業務は複雑になった。
院内区画対応	<ul style="list-style-type: none"> 5月下旬 7病棟を再度休床し、発熱・呼吸症状のある患者を5病棟へ移動した。また、1病棟へ移動していた内科・外科の入院患者を5病棟に戻し、5病棟を再稼働した。7病棟での経験を活かし、発熱・呼吸症状のある患者とその他の患者のゾーニングを行うとともに、スタッフや動線を分けるなど、院内感染防止に細心の注意を払っている。
院外区画対応	<ul style="list-style-type: none"> 3月下旬 正面玄関でのトリアージ、発熱テント外来（軽症）を新規に運用開始した。患者家族出入通用口を閉鎖し、患者の出入口を正面玄関のみとし、全員チェックの方針とした。発熱外来（救急処置室）は中症・重症の診察とし運用を一部変更した。連絡なく来院し一般待合に混在することが問題となった。 4月下旬 発熱テント外来のため、コンテナ（4坪）を設置した。採血・レントゲン等の検査が必要な患者が増加した。また、悪天候や気温の変化で患者への負担もあり設置の運びとなった。仮設トイレ、手洗い場を設置、テントは車いす用のトイレとしてポータブルトイレを置いて継続設置した。なお、仮設トイレについては、患者が使うことに対しレンタル業者から難色を示され、買取を提案された。最終的には他の業者から借りることができた。条件として、糞尿の汲み取りをして数週間病院敷地内に放置し、感染の恐れがなくなってから返却することとなった。

その他事項

追記事項等	<ul style="list-style-type: none"> 発熱・呼吸器症状のある患者のトリアージ実施（正面玄関） 来院者の全員検温実施（正面玄関の外）。自己申告のトリアージを通り抜け、一般外来患者の中にも発熱・呼吸器症状のある患者がみられたためである。 7：30開錠を8：00に変更した。担当者は、8：00～11：30まで事務職員、11：30以降は警備員により行う事となった。
-------	---

情報提供日

2020/5/31

※本情報は情報提供日時点でのものであり、その後変更となっている可能性があります。

整理番号：

JiHaHP掲載日

2020/7/1